

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月2日

上場会社名 株式会社スカパーJSATホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9412 URL <https://www.skyperfectjsat.space/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米倉 英一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松谷 浩一 (TEL) 03-5571-1500
 四半期報告書提出予定日 2023年8月4日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	30,009	4.2	6,919	24.6	7,279	22.9	4,982	23.5
2023年3月期第1四半期	28,806	△0.9	5,551	1.1	5,924	1.0	4,033	△18.2

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 4,177百万円(2.1%) 2023年3月期第1四半期 4,091百万円(△39.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	17.15	ー
2023年3月期第1四半期	13.89	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	391,335	257,705	65.5	882.42
2023年3月期	399,055	256,815	64.0	879.33

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 256,316百万円 2023年3月期 255,420百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	ー	9.00	ー	11.00	20.00
2024年3月期	ー				
2024年3月期(予想)		10.00	ー	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	121,000	△0.1	22,500	0.8	22,000	△5.2	15,000	△5.1	51.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期1Q	297,404,212株	2023年3月期	297,404,212株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2024年3月期1Q	6,933,124株	2023年3月期	6,933,124株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期1Q	290,471,088株	2023年3月期1Q	290,291,901株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、本文中の記載金額は、億円単位の表示は億円未満四捨五入とし、百万円単位の表示は百万円未満切捨てとしております。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、個人消費をはじめ持ち直しております。

当社グループを取り巻く環境としては、宇宙事業の分野では船舶・航空機向けの移動体衛星通信や多岐にわたる分野での衛星データ利活用の需要が拡大しております。また、世界レベルで新たな事業者が宇宙ビジネスに参入し、大規模な低軌道衛星通信システムプロジェクトを推進するなど、ビジネスの環境が大きく変化しております。

メディア事業の分野では、動画配信サービス市場が拡大する一方で、有料放送市場でのマイナス成長や動画配信サービス市場での事業者の合従連衡の動きもみられる等、激しく市場環境が変化しております。

このような経済状況の下、当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は次のとおりとなりました。

区分	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (百万円)	増減率 (%)
営業収益	28,806	30,009	1,203	4.2%
営業利益	5,551	6,919	1,367	24.6%
経常利益	5,924	7,279	1,354	22.9%
税金等調整前四半期純利益	5,924	7,279	1,354	22.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,033	4,982	948	23.5%

なお、EBITDAは前年同四半期比11億円増加し、126億円となっております。

(注) EBITDAは、親会社株主に帰属する四半期純利益、法人税等合計、支払利息、減価償却費、のれん償却額の合計として算定しております。

当社グループのセグメント別の概況は次のとおりであります。(経営成績については、セグメント間の内部営業収益等を含めて記載しております。)

<宇宙事業>

・既存事業の強化

国内衛星ビジネスにおいては、2023年3月に国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)との間で協定を締結した近地球追跡ネットワークサービスに関して、海外地上局を共同でサービス提供することについて、2023年5月にKongsberg Satellite Services ASと合意いたしました。通信衛星及び回線の運用を通じて得たノウハウを活かした新たなサービスを展開し、宇宙利用の拡大や宇宙産業の発展に貢献してまいります。

グローバル・モバイルビジネスにおいては、ハイスループット衛星JCSAT-1Cの利用が拡大しており、同じくハイスループット衛星であるHorizons 3eとともに、今後の収益拡大を見込んでおります。また、2027年上期にはフルデジタル衛星Superbird-9の運用を開始予定であり、市場や顧客の多様なニーズへの対応を通して、日本をはじめとする東アジア地域における一層の事業拡大と競争力強化に努めてまいります。

・新たな技術の活用や事業領域拡大への取り組み

通信分野では、新たな宇宙インフラの構築を目指し、日本電信電話(株)との合弁会社(株)Space Compassにおいて、光データリレーサービスの提供に向けた衛星の開発と調達を進めるとともに、地球観測衛星事業者との間で協業に向けた検討を進めております。

また、2023年6月には、カタル環境省（Ministry of Environment and Climate Change）向けに、SAR（Synthetic Aperture Radar：合成開口レーダー）衛星画像を活用した海上オイル漏れ検知サービスの提供を開始いたしました。持続可能な社会と環境の実現に貢献するとともに、ビジネスインテリジェンス分野におけるサービス開発や販売活動を一層強化してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の宇宙事業の経営成績は次のとおりとなりました。

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (百万円)	増減率 (%)
営業収益				
外部顧客への営業収益	12,114	13,796	1,681	13.9%
セグメント間の内部営業収益等	1,726	1,649	△77	△4.5%
計	13,841	15,445	1,603	11.6%
営業利益	4,128	5,670	1,542	37.4%
セグメント利益（親会社株主に帰属 する四半期純利益）	2,938	4,008	1,069	36.4%

放送トラポン収入が減少した一方で、国内衛星ビジネス分野における機器販売及び回線利用の拡大や、グローバル・モバイル分野におけるJCSAT-1C及びHorizons 3eの利用拡大の影響及び減価償却費の減少等により、営業収益、営業利益及びセグメント利益は増加いたしました。

<メディア事業>

・放送事業・配信事業

2023年シーズンプロ野球では、「プロ野球セット」でセ・パ12球団の公式戦全試合を生放送・配信し、海外サッカー「ドイツブンデスリーガ」では、全試合を放送・配信しております。

2023年5月より、スカパー！ポイントプログラムを開始しました。当社の幅広いサービスに触れていただくことでお客様の体験が深化し、コンテンツライフがこれまで以上に充実したものとなることを目指してまいります。

また、放送・配信にとどまらずリアルサービスとしては、「スカパー！ブンデスリーガジャパンツアー2023」を開催し、FCバイエルン・ミュンヘンを招聘することを決定いたしました。当社は、2023年7月29日の川崎フロンターレとの試合を主催いたします。

・FTTH事業

光ファイバーによる地上デジタル・BSデジタル等の再送信サービスでは着実に提供エリア拡大を進めており、2023年6月末時点における提供エリアは37都道府県にわたり、提供可能世帯数は約4,280万世帯、契約世帯数は266万世帯に達しております。また、ケーブルテレビ業界の課題解決に向けた新たな方式での多チャンネルサービスとして、業界初の取り組みとなるBS/CS放送のパススルー伝送及び視聴制御を組み合わせたサービスを2022年11月から開始しており、2023年6月末月時点で9局での導入が決定しております。

・新規事業

アリーナ基点での地域活性化への貢献と社会課題解決を図る「神戸アリーナプロジェクト」へ参画するため、2025年開業予定の神戸アリーナ（仮称）の運営会社One Bright KOBEと協創パートナーシップ契約を締結し、「コンテンツ・BCP・サステナビリティパートナー」として連携するため、同社に出資いたしました。

当第1四半期連結累計期間における加入件数は次のとおりとなりました。

	新規	解約	純増減	累計
当期	133千件	145千件	△12千件	2,863千件
前年同四半期比	△4千件	△12千件	8千件	△125千件

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のメディア事業の経営成績は次のとおりとなりました。

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (百万円)	増減率 (%)
営業収益				
外部顧客への営業収益	16,691	16,213	△477	△2.9%
セグメント間の内部営業収益等	772	751	△20	△2.7%
計	17,463	16,965	△498	△2.9%
営業利益	1,598	1,453	△145	△9.1%
セグメント利益(親会社株主に帰属する四半期純利益)	1,159	1,081	△77	△6.7%

契約世帯数の増加等によりFTTH事業収入が1億円増加した一方で、累計加入件数減少等の影響で視聴料・業務手数料・基本料収入が7億円減少したこと等により営業収益は前期比5億円減少いたしましたが、広告宣伝・販促費の減少等により営業利益は前期比1億円の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は3,913億円となり、前連結会計年度末比(以下「前期比」)77億円減少いたしました。

流動資産は、衛星画像の仕入等に係る前渡金が48億円増加いたしました。現金及び現金同等物の減少77億円、Xバンド事業に関する債権回収等による売掛金の減少47億円等により前期比58億円減少いたしました。

有形固定資産及び無形固定資産は、設備投資により40億円増加いたしました。減価償却費50億円等により前期比10億円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,336億円となり、前期比86億円減少いたしました。

主な増加は前受収益50億円であり、主な減少はXバンド事業及びHorizons 3e事業に関する借入金の返済等による有利子負債の減少30億円、未払金の減少57億円、未払法人税等の減少42億円であります。

当第1四半期連結会計期間末における非支配株主持分を含めた純資産は2,577億円となり、前期比9億円増加いたしました。

主な増加は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加18億円であります。また、自己資本比率は65.5%となり、前期比1.5ポイント増加いたしました。

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益と減価償却費の合計122億円に加え、売上債権の減少47億円及び前受収益の増加50億円がありましたが、前渡金の増加48億円、未払金の減少57億円、法人税等の支払55億円等により、30億円の収入(前年同四半期は231億円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出34億円等により34億円の支出(前年同四半期は18億円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出42億円、配当金支払による支出31億円等により74億円の支出(前年同四半期は114億円の支出)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前期比77億円減少し、1,002億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、2023年4月28日公表の「2023年3月期決算短信」に記載の連結業績予想を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,913	61,229
売掛金	61,474	56,743
リース債権	46,234	45,419
有価証券	32,995	38,998
番組勘定	948	2,067
商品	1,232	1,460
仕掛品	349	436
貯蔵品	228	222
前渡金	1,247	6,035
短期貸付金	3,629	3,652
未収入金	706	417
その他	4,982	6,476
貸倒引当金	△88	△83
流動資産合計	228,855	223,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,446	8,432
機械装置及び運搬具（純額）	18,521	17,862
通信衛星設備（純額）	61,640	59,220
土地	2,924	3,098
建設仮勘定	20,523	21,458
その他（純額）	4,337	4,448
有形固定資産合計	115,393	114,519
無形固定資産		
ソフトウェア	4,287	4,201
その他	58	58
無形固定資産合計	4,345	4,260
投資その他の資産		
投資有価証券	24,856	24,834
長期貸付金	12,946	13,028
繰延税金資産	10,154	9,296
その他	2,503	2,319
投資その他の資産合計	50,460	49,478
固定資産合計	170,200	168,258
資産合計	399,055	391,335

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	254	158
1年内返済予定の長期借入金	10,572	10,866
未払金	13,715	7,966
未払法人税等	5,804	1,573
視聴料預り金	6,754	7,055
前受収益	19,145	24,133
賞与引当金	628	293
その他	7,201	7,248
流動負債合計	64,076	59,296
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	52,975	49,724
繰延税金負債	1,102	1,162
退職給付に係る負債	6,545	6,578
資産除去債務	2,273	2,301
その他	5,266	4,567
固定負債合計	78,163	74,333
負債合計	142,239	133,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,081	10,081
資本剰余金	131,911	131,911
利益剰余金	114,333	116,120
自己株式	△2,924	△2,924
株主資本合計	253,401	255,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△191	△405
繰延ヘッジ損益	7	483
為替換算調整勘定	2,546	1,382
退職給付に係る調整累計額	△343	△332
その他の包括利益累計額合計	2,018	1,128
非支配株主持分	1,395	1,388
純資産合計	256,815	257,705
負債純資産合計	399,055	391,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業収益	28,806	30,009
営業原価	16,499	16,544
営業総利益	12,306	13,465
販売費及び一般管理費	6,754	6,545
営業利益	5,551	6,919
営業外収益		
受取利息	339	551
受取配当金	11	16
持分法による投資利益	63	6
為替差益	136	124
その他	144	148
営業外収益合計	695	847
営業外費用		
支払利息	300	476
その他	21	10
営業外費用合計	322	487
経常利益	5,924	7,279
税金等調整前四半期純利益	5,924	7,279
法人税、住民税及び事業税	1,460	1,416
法人税等調整額	374	796
法人税等合計	1,835	2,212
四半期純利益	4,088	5,066
非支配株主に帰属する四半期純利益	55	84
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,033	4,982

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	4,088	5,066
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73	△212
繰延ヘッジ損益	302	449
為替換算調整勘定	△244	△1,164
退職給付に係る調整額	12	10
持分法適用会社に対する持分相当額	5	27
その他の包括利益合計	2	△889
四半期包括利益	4,091	4,177
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,988	4,091
非支配株主に係る四半期包括利益	102	85

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,924	7,279
減価償却費	5,323	4,966
のれん償却額	16	-
受取利息及び受取配当金	△351	△567
支払利息	300	476
持分法による投資損益 (△は益)	△63	△6
売上債権の増減額 (△は増加)	5,432	4,747
番組勘定の増減額 (△は増加)	△1,620	△1,119
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△360	△308
前渡金の増減額 (△は増加)	△19	△4,787
未払金の増減額 (△は減少)	△4,900	△5,748
前受収益の増減額 (△は減少)	12,586	4,987
リース債権の増減額 (△は増加)	755	815
その他	1,019	△1,899
小計	24,043	8,835
利息及び配当金の受取額	547	508
利息の支払額	△499	△808
法人税等の支払額	△961	△5,522
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,130	3,013
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,229	△2,988
無形固定資産の取得による支出	△572	△365
投資有価証券の取得による支出	-	△50
その他	△10	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,812	△3,402
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△0	-
長期借入金の返済による支出	△3,781	△4,167
社債の償還による支出	△5,000	-
配当金の支払額	△2,564	△3,147
非支配株主への配当金の支払額	△58	△92
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,403	△7,407
現金及び現金同等物に係る換算差額	266	115
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,180	△7,680
現金及び現金同等物の期首残高	85,914	107,908
現金及び現金同等物の四半期末残高	96,094	100,228

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間より、事業セグメントの記載順序を変更しております。これに伴い、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントの記載順序を同様に變更しております。

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	宇宙事業	メディア事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客への営業収益	12,114	16,691	28,806	—	28,806
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	1,726	772	2,499	△2,499	—
計	13,841	17,463	31,305	△2,499	28,806
営業利益	4,128	1,598	5,726	△175	5,551
セグメント利益(親会社株主に に帰属する四半期純利益)	2,938	1,159	4,097	△64	4,033

(注1) セグメント利益の調整額△64百万円には、セグメント間取引消去0百万円と、各報告セグメントに配分していない全社損益(全社収益と全社費用の純額)△64百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益及び税金費用であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	宇宙事業	メディア事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客への営業収益	13,796	16,213	30,009	—	30,009
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	1,649	751	2,401	△2,401	—
計	15,445	16,965	32,410	△2,401	30,009
営業利益	5,670	1,453	7,123	△203	6,919
セグメント利益(親会社株主に 帰属する四半期純利益)	4,008	1,081	5,089	△107	4,982

(注1) セグメント利益の調整額△107百万円には、セグメント間取引消去10百万円と、各報告セグメントに配分していない全社損益(全社収益と全社費用の純額)△117百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益及び税金費用であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。